



全日本社会貢献団体機構 平成26年度通常総会を開催

AJOSCOから版 Vol.18 (平成26年6月3日)

5月23日(金)13時より、第一ホテル東京において、全日本社会貢献団体機構平成26年度通常総会が会員、名誉顧問、専務理事、筆頭理事、理事、監事、参与、常任幹事、賛助会員合計約150名の参加のもと開催されました。

冒頭、堀田力会長から、「東日本大震災被災地の方々は、仮設住宅等で厳しい生活を強いられています。当機構としては引き続き特別助成として支援していきます。業界の事業も厳しい中ではありますが、弱者を救う支援として、平成25年は前年より4000万円上回る17億2000万円を拠出しました。全国で頑張っている皆様に感謝申し上げます。地域でみんなが支えあうという共感、共助、共生の精神を示して頑張っていきましょう」との挨拶がありました。

総会では、平成25年度事業活動報告、平成26年度の事業計画・予算案の審議が行われ、いずれも可決承認されました。役員選任の件では、会長、理事



長の再任のほか、一部役員(理事、顧問、専務理事、参与、常任幹事)の退任、新たに元日銀参事の田中哲二氏、千葉大人文学部研究科教授の吉田雅巳氏の理事就任等が提案され、承認されました。

次に、社会貢献活動審査委員会委員長代行の脇田直枝理事から第9回社会貢献大賞の審査結果について、梁川康成筆頭理事から平成26年度助成事業の選考結果についてそれぞれ報告がありました。

最後に、青松英和理事長から、「本日決定した平成26年度の事業計画・予算に基づき、より充実した社会貢献活動を展開していきたい。会員である都府県方面遊協の皆様の更なるご支援、ご協力をお願いいたします」との挨拶があり、盛会のうちに閉会しました。



堀田力会長



青松英和理事長



平成25年度助成事業の成果物展示の様相